



市政執行方針

平成22年第1回紋別市議会定例会の開会にあたり、私の市政に対する執行方針を申し上げ、議員の皆さん並びに市民の皆さんのご理解とご協力を賜りたいと存じます。昨年、政権選択を最大の争点とした衆議院議員総選挙により、民主党を中心とした三党連立の鳩山内閣が誕生いたしました。

新政権は、「コンクリートから人へ」、「人間のための経済」といった理念のもと、公共事業依存型から暮らしの安心を支える分野へ、また、中央集権型体制から地域主権型社会の実現に向けた施策を展開し、政治経済社会の構造や枠組みの転換を目指すとしております。地方の一員として、「地域の個性を育み、多様性が尊重される真の地域主権の樹立」と言える制度設計が着実に進められるよう、積極的に提言していかねければならないと考えております。

同時に、私たち自身の取組も、可能な限り自らの可能性や潜在力を発揮できるよう創意工夫し、さらに前進させなければなりません。私たちは、これまで以上に行政コストの縮減に知恵を絞りながら、個別事業の検証による「選択と集中」を徹底し、財政規律を遵守しながら、地域にとって必要な社会資本を着実に整備するとともに、持続可能な産業基盤や社会サービス基盤を構築し、責任を持って次世代に引き継いでいかなければなりません。

このため、本年度の施策や事業を、緊急に実施するもの、地域の活性化に結びつくもの、未来への投資となるものとし、「安全・安心」もんべつ産品づくりプランなど、第五次紋別市総合計画における先導的プランの展開方針に基づき、それぞれの分野施策を有機的・横断的に連携させ展開することにより、総合的な効果が発揮できるよう、優先度や時機を見極め、計画的に実施してまいりたいと考えております。

第一に「緊急に実施するもの」として、市民生活に重大な影響を及ぼす課題への重点的対策であります。

昨年8月の休日夜間急病センター開設以降、市民の皆さんと関係者の方々のご理解・ご協力により、一次救急に対する不安解消に一歩前進できたところでありますが、私は、センターの運営現場を通し

て、「安心・しあわせは医療からはじまる」という思いを一層強くいたしました。

このため、地域で完結できる二次医療機能の再生や休日夜間急病センター機能の拡充など、地域医療の確保・充実に向けた対策に最優先で取り組み、一日も早く、命を守る環境が築き上げられるよう、全力を傾注してまいります。

第二に、「地域の活性化」として、まちの自立的発展を支え、暮らしの充実に大きな役割を果たす産業分野への支援であります。

地域の活力の基盤は産業であります。基幹産業である農林水産業が「地域の個性・強み」として、持続的に振興していくよう、行政は強く後押ししていく必要があります。

また、漁業関係者待望の高度衛生管理型卸売市場や、ものづくり体験工場を併設した水産加工店舗が完成するなど、観光と紋別産品が結びついたビジネス展開やウォーターフロント機能を有する新たな観光資源としての可能性が高まっております。

さらに、市民交流や交流拡大プロジェクトなどによる「みなと森と水サミット」を契機に、東京都港区の再開発事業における公共施設等の木材利用の提案をはじめ紋別の水産物の紹介・販売にも広がりを見せつつあります。

このため、環境と産業の融和を基本的な視点としながら、地域資源を総動員して、各産業分野が相乗効果を発揮し、ともに振興していく仕組みを構築していきたいと考えております。

第三に、「未来への投資」として、良質な社会資本の継承と人づくりであります。

高規格幹線道路旭川・紋別自動車道をはじめ空港、港湾などの社会資本は、高次医療搬送を支える「命のみち」、物流を支える「産業のみち」、観光振興などを支える「交流拡大のみち」であり、何より市民の皆さんが「将来の希望をつなぐみち」であると強く感じております。

また、ライフラインである上下水道をはじめ、生活道路やごみ処理施設などは、市民生活上欠かすことのできない都市基盤として、効率的かつ計画的な整備に努め、今を生きる私たちから将来の紋別

市民に至る「受益と負担」のバランスを十分見極め、大切な地域の財産として継承していく責務があると考えております。

「流水と大地の恵みを活かして人が輝き躍動するまちもんべつ」、この第5次紋別市総合計画の都市像、すなわち私たちの求めるまちの姿、生き生きとした地域社会の姿を想像してみましよう。

「豊かでかけがえのない自然環境が守られ、自然の恵みと人々の知恵で育まれた農林水産物や個性あふれる営みにより、このまちで暮らす市民が自信と希望に満ちあふれ、頼もしく輝いている、そして、共感し合い支え合う場が家庭や職場、地域で出来上がっている。」

私は、そのようなもんべつを築き上げ、次世代に引き継いでいきたいと考えております。

そのために最も重要なもの、それは人づくりであります。

また、人づくりは、同時に自らの生きがいづくりでもあり、周囲の人々を大切にし、思いやる心が育まれ、共に支え合う社会の構築に繋がっていくと私は信じております。

このため、あらゆる機会を通じて学び合い、教え合い、お互いにその能力を発揮し、成長し合う人づくりに取り組み、道路や公共施設といったモノの社会資本とともに、知恵や生き方までも次世代につないでいくことが必要であります。

かつて私は、『一人ひとりが、これまでの役割にとらわれることな

く、もっとたくさんの役割にチャレンジし、一人ひとりが自らの可能性を広げていっていただきたい』と申し上げました。

私も市民の皆さんの先頭に立ち、次世代への引き渡し手として、ふるさとを未来に導き、一人ひとりが希望と感動を共有するまちづくりを実現するため、本年をあらゆ

確かな産業を育てるまがひついで

未来に継続できる産業の基盤づくりと活発な産業活動が展開されるまちづくりを目指し、紋別の個性であり強みである各産業の生産基盤を整備するとともに、市場ニーズに対応し、環境と共生する産業の確立に向けた取組を展開いたします。

農業につきましては、引き続き道営草地整備改良事業に取り組みほか、本年から第3期となる中山間地域等直接支払事業、郊外集乳路線にかかる農道整備事業および国道渚滑橋水道管移設などを実施し、生産性の高い農業基盤の強化を図ってまいります。

また、酪農家の経営体質の強化を図るため、本年度完了予定の乳牛ほ育・育成預託牧場建設事業に補助するなど、「一貫ほ育・育成預託システム」の確立に支援してまいります。

林業につきましては、道営林道

る面においてチャレンジの一年にしたいと思っております。

是非、市民の皆さんも、まちのため、家族のため、自分のためのチャレンジをお願いいたします。

以下、本年度の主要な施策の概要を第5次紋別市総合計画のまちづくりの基本目標に沿って、申し上げます。

整備事業により、森林管理道弥生第2線の整備を進め、間伐等適切な森林施業の推進に努めてまいります。

森林認証の取組といたしましては、一般民有林の認証取得に支援するほか、認証材の地元消費促進のため、認証材モデル施設として休日夜間急病センター医師住宅を建設するとともに、一般住宅建設に対する補助制度を創設いたします。



▲認証材を使用したモデル住宅